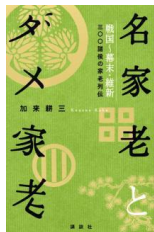


われは名サポーター

華々しい活躍をする人々の陰には、必ず優秀なサポーターたちがいる！今回は主役を陰から支える人々に注目します。

家老



『名家老とダメ家老』

加来 耕三著
講談社
281カ
篠崎ほか所蔵

家老とは、室町・江戸時代に領地の運営について、主君の補佐をした役職です。諸改革を成功させ藩を富ませた家老や、禁令に触れて阿波踊りに熱狂し一生を棒に振った家老など、江戸三百藩の家老達をご紹介します。故郷の家老を調べるだけでも、面白いですよ。

秘書



『日本一の秘書』

野地 秩嘉著
新潮社
281ノ
篠崎ほか所蔵

カレーのチェーン店「CoCo壱番屋」の創業者の秘書中村由美は日本秘書協会が選出するベストセクレタリーに選ばれたこともある凄腕秘書である。ベストセクレタリーたるや、どこが人と違うのか。ちょっと意外でもあり、なるほどと思わせる彼女の人物像にせまる。

ホテルスタッフ



『帝国ホテルの不思議』

村松 友視著
日本経済新聞出版社
689ム
篠崎ほか所蔵

本書では日本を代表するホテル「帝国ホテル」を支えるサービスのプロ達のもてなしの流儀に迫ります。どんな仕事をどんな人が、どんな心構えで行っているのか。インタビューを交えてくわしく紹介されています。普段は目にする事のないホテルの裏側も垣間見えて興味深いです。

編集者



『神様の伴走者』

佐藤 敏章インタビュー
小学館
726サ
篠崎ほか所蔵

かつて「手塚番」と呼ばれた編集者たちがいた。仕事は過酷だったが、良い時も悪い時も手塚を支え励まし、良い漫画を世に送り続けた。手塚治虫という天才の魅力と、その天才の近くに身を置いていたことへの編集者たちの喜びを、このインタビュー集から強く感じた。

そのメロディに魅せられて♪

『Rising Sun』(「EXILE BEST HITS -LOVE SIDE/SOUL SIDE-」所収)
EXILE K1エ08892 篠崎ほか所蔵

東日本大震災復興支援プロジェクトの曲、の印象が強いです、今でもこの曲を聴くと勇気がわいてきます。「どんな暗い闇の中でも／明けない夜はないと信じて」何かと暗い話題の多い昨今だからこそ、この曲が名サポーターとなってくれるのではないのでしょうか。

職人



『TOKYOオリンピック物語』

野地 秩嘉著
小学館文庫
B780ノ
篠崎ほか所蔵

1964年の東京五輪を支えた技術者や職人達の奮闘を描いたノンフィクション。ピクトグラム、選手村レストラン、メダルの集計システム……。みんな選手達のため、国のために頑張った。彼らの拓いてくれた道筋はきっと次の“東京”までつながっているに違いない。

NASA



『君について行こう』 上・下

向井 万起男著
講談社+α文庫
B916ム1・2
篠崎ほか所蔵

宇宙飛行士・向井千秋氏の夫である著者以上に名サポートと讃えたいのは、宇宙飛行士とその家族を手厚く支援するNASAの取組です。人間の心の弱さを肯定し、その上で宇宙飛行士の精神的な負担を軽減させようとするNASAの姿勢には感心させられました。

軍師



『左近』上・下

火坂 雅志著
PHP研究所
Fヒ1・2
篠崎ほか所蔵

豊臣秀吉の家臣・石田三成の軍師で、石田家の軍事をすべて任された島左近。下剋上の時代に損得を考えず、惚れた主君のためには死を厭わないという漢の生き様が描かれています。左近に補佐されたら百人力、いや万人力。著者の遺作となった未完の大作です。

編集者



『私にふさわしいホテル』

柚木 麻子著
扶桑社
Fユ
篠崎ほか所蔵

成功するためにはなりふり構わない新人作家の京子。担当編集者の遠藤はそのやり過ぎぶりにおののきながらも共に修羅の道(?)を歩む覚悟を決める。クセモノだらけの出版業界で無事彼女に頂点を極めさせることができるのか？